



一般質問は、各議員の質問の主旨を大切に、編集委員会で分かりやすく要約し掲載しています。発言全文は、3月上旬に公開予定です。小川町のホームページからアクセスしてご覧ください。

12の視点 一般質問

前ページから大人顔負けの「子供議員一般質問」に刺激を受けて迎えた今次一般質問。子供議員に負けじと気合十分で臨んだ大人議員による“本物”の質問の妙を一読ください。



- P.6 マイナンバー
- P.7 不登校対策
- P.7 子育て支援
- P.8 トイレの整備
- P.8 温暖化対策
- P.9 ICT教育
- P.9 教育の充実
- P.10 行政区の再編
- P.10 遊休農地
- P.11 障害者福祉
- P.11 インバウンド
- P.12 学校再編



ささもとたかゆき 笹本孝幸議員が町に問う！

マイナンバー

交付率アップの工夫は

【答弁】 イベント等で申請予約の受付を行っています

Q 国はデジタル田園都市国家構想の実現に向けた方針の中で、マイナンバーカードの普及促進・利活用の拡大を掲げているが、当町の現状は。

A 町民課長 当町での交付率は徐々に増加傾向にあります。同時に全国の平均交付率も大きく伸びている状況です。ますます申請勧奨の取組が必要であると認識しています。出張申請や人の集まるところでの申請予約の受付など、地道な活動が基礎となると考えています。そうした活動をしっかりと行っていく、今後何ができるのか考えていきます。

東小川学校跡地の説明会

AQ 要望で最も多かった内容は、政策推進課長 最も多かった



マイナンバーカード出張申請受付の様子



たかはしいさお 高橋功人議員が町に問う！

不登校対策

今後の具体的な取組は

【答弁】 迅速に対応できるよう努めます

AQ ここ数年の不登校の実態は。学校教育課長 小学校は令和元年度に7人、2年度に14人、3年度に15人です。中学校は令和元年度に22人、2年度に19人、3年度に26人です。

Q 総合振興計画では、令和7年を目標に不登校の発生率を小学校0・28、中学校を2・36と定めているが実態はどうか。

A 学校教育課長 小中学校とも目標の数値を上回っています。

Q 文部科学省では、不登校の児童生徒支援の具体的手立てとして「児童生徒理解・支援シート」の作成が望ましいと通知しているが、活用しているか。

A 学校教育課長 不登校以外の児童生徒を含め、ほかのシートを作成し活用しています。



不登校を生まない充実した学校生活を



たかせつとむ 高瀬勉議員が町に問う！

子育て支援

独自の子育て支援の構築を

【答弁】 子育て世代のニーズを的確に把握します

未来につながる子供議会

Q 各町立学校から受けた質問や提言について、予算化や事業化など、実現を強く望むが。

A 町長ほか 提言等が形になることは、子供たちの自信につながるものと捉えていますので、実現可能なものがあれば、積極的に取り入れていきたいと考えています。

Q 兵庫県明石市で進められている市独自の子育て支援の数々は、人口のV字回復を達成させている。同市発信の各事業を真似・参考に、町独自の子育て支援策の構築を。

A 子育て支援課長 子供を核としたまちづくりを掲げ、国に先駆けて様々な子育て支援を展開している明石市の取組は、いずれも住民目線で分かりやすく、魅力的に映る施策が多いと捉えています。また「子育てしやすいまちづくり」が、若い世代の人口流入から税収の増加を促し、さらに充実した事業展開につながるという好循環を生み出しています。同様の施策展開には課題が多いですが、参考にしながら、今後も子育て世代のニーズを的確に把握し、子育て支援の充実に生かしていきます。



大変なこともあるけど楽しい子育て

小川町議会だよりは 見出しにコダワル！ 内容が一目でわかり、記事を読みたくなる見出しをつけます。

つづく！

議会を通して、世の中との関係性を学べました。西中 教頭 中根先生

普段は体験できない貴重な経験になりました。東中 2年担任 松下先生

Vol.20 子供議会が行われました先生にインタビュー

Mini Interview P11までつづきます！
オガワマチのこと・ギカイのこと「一緒に見よう、考えよう」